

令和4年 第6回（12月）吉川市議会定例会

一般質問通告書

12月14日（水）			
質問者			
通告第 1号	13番	小野 潔	
通告第 2号	19番	中嶋 通治	
通告第 3号	10番	降旗 聡	
通告第 4号	14番	五十嵐惠千子	
通告第 5号	15番	大泉 日出男	
通告第 6号	(欠番)		
通告第 7号	3番	稲葉 剛治	

12月15日（木）			
質問者			
通告第 8号	5番	林 美希	
通告第 9号	8番	雪田 きよみ	
通告第10号	16番	赤出川 義夫	
通告第11号	7番	飯島 正義	
通告第12号	12番	齋藤 詔治	
通告第13号	17番	吉川 敏幸	
通告第14号	1番	岩田 京子	

12月16日（金）			
質問者			
通告第15号	11番	伊藤 正勝	
通告第16号	2番	稲垣 茂行	
通告第17号	6番	遠藤 義法	

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第1号 13番 小野 潔	新型コロナウイルス感染症対策等及び社会経済対策について	<p>なかなか収束の見えない新型コロナウイルス感染症、第8波に入ったとの見方もされています。全国の感染者数も11月第2週の感染者平均は71,381人、第3週では83,413人と推移しています。政府では感染対策と経済活動の両立をにらみ行動制限のない年末・年始を現段階では推進しようとしています。このような状況の中、当市での新型コロナウイルス感染症対策等及び社会経済対策について以下お伺いいたします。</p> <p>1、新型コロナウイルス感染症対策等（インフルエンザワクチン対策）</p> <p>①現在推進中のオミクロン株対応ワクチン接種の状況についてお伺いいたします。</p> <p>②インフルエンザ発症状況とワクチン予防接種の状況についてお聞きいたします。</p> <p>③小児5歳から11歳の個別接種の状況についてお伺いいたします。</p> <p>④生後6ヶ月以上4歳以下の乳幼児用ワクチン接種が11月中旬から開始されたと聞いていますが状況についてお伺いいたします。</p> <p>⑤第7波のピークアウト～現在増加傾向にある第8波の在宅療養者支援の状況についてお聞かせください。</p> <p>⑥小中学校での新型コロナウイルス感染状況とインフルエンザ感染状況についてお伺いいたします。</p> <p>2、社会経済対策について、国では本年度の第2次補正予算一般会計歳出29.1兆円規模の総合経済対策の早期成立を目指しています。ウクライナ侵略や円安を要因とするエネルギー、原材料、物価高騰対策として、電気・ガス負担軽減、妊婦支援、賃上げ、人への投資策、中小企業支援、デジタル化支援等が織り込まれています、このような状況を踏まえたうえで伺いいたします。</p> <p>①エネルギー、原材料、物価高騰対策として、9月議会で議決した「公共交通事業継続支援金」、「障がい者・高齢者、子どもに関する施設への支援金」の支給状況と総括についてお聞かせください。</p> <p>②9月議会でも確認した「事業者連携発展支援補助金」の状況についてお聞かせください。</p> <p>③継続中の「プレミアム付き商品券発行事業」の進捗状況についてお聞かせください。</p> <p>④エネルギー、原材料、物価高騰対策として、事業者支援についてお聞かせください。</p> <p>⑤エネルギー、原材料等高騰による「学校給食の状況」について6月議会でもお尋ねいたしましたが現在の状況と対応についてお伺いいたします。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第1号 13番 小野 潔	小中学校等の体育館へのエアコン設置について	<p>避難所指定を受けている小中学校体育館へのエアコン設置については、わが公明党会派の互金次郎前市議会議員より、令和元年3月議会の市長の施政方針に対する代表質問、また同年12月議会の一般質問において質問させていただきました。</p> <p>先日11月13日（日）に、第7回吉川市減災プロジェクト in 関小学校区が開催されました。「自助・共助」をテーマとして、水害時及び震災時を想定した、各自治会の皆さんが参加の下、市民参加型の避難訓練が実施され、特に体育館においては、震災時を想定した訓練が行われていました。改めて避難所の環境づくりが重要と感じたところです。また近隣市の草加市、三郷市、八潮市でも導入が進んでおります。三郷市では平成30年市長4期目就任にあたる所信表明で「小・中学校の教育環境整備につきましては、普通教室へのエアコン設置の完了に続き、屋内運動場へのエアコン設置を進めてまいります」と八潮市では「学校の授業や避難所として使用する体育館においては近年の猛暑や新しい生活様式であるマスクの着用によって熱中症リスクが高まることが想定されるため体育館空調設備の設置を進めてまいります」としております。大規模災害時の避難所としての使用、平時における小中学校の教育環境整備の観点からもエアコンを設置してはと考えるのですが見解をお伺いいたします。</p>	市長 担当部長
	吉川駅北口治水対策と流域治水について	<p>1、令和2年9月議会において、木売から高久の中川の堤防の1.5mのかさ上げについて質問をさせていただきました。国交省江戸川河川事務所より「R2 中川左岸木売地先堤防整備外工事」として工事期間、令和3年6月～令和4年1月（予定）と連絡を頂いてから本年春先に堤防かさ上げが完成いたしました。この事業の際、江戸川河川事務所から吉川駅北口の内水対策における共保のポンプ場の増強について「中川下流部分のかさ上げが終了後相談にのります」とお話をいただいております。</p> <p>本年の施政方針でも「第一排水区において、引き続き管路や地形データを基に流出解析を行い、さらに共保雨水ポンプ場増強の効果について検証を行い、その結果をもって江戸川河川事務所と排水量の増加に向けた協議を行ってまいります。流出解析により必要がある場合には、管路や貯留施設の整備について検証していく」と述べられています。</p> <p>そこでお伺いいたします。解析の状況、ポンプ場増強の検証、江戸川河川事務所との協議状況についてお聞かせください。</p> <p>2、令和2年9月議会のご答弁で治水対策について「令和2年度より国交省は河川の流域全体で治水を行う流域治水の考え方を示したところです。治水の在り方が</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第1号 13番 小野 潔	(続) 吉川駅北口治水対策と流域治水について	<p>変更されることも考えられますので、動向を注意してまいります」とされております。当市ではこの流域治水プロジェクトにおいては、江戸川流域治水協議会と中川・綾瀬川流域治水協議会に加盟しています。そこでお伺いたします。</p> <p>①令和4年3月15日に第4回両協議会が開催されたと伺っていますがどのような内容の協議が行われたかお聞かせください。</p> <p>②流域治水参加自治体は広範囲に渡ります。中川・綾瀬川流域治水協議会では茨城県の五霞町をはじめ北は埼玉県熊谷市～、南は当市をはじめ東京都足立区、葛飾区、江戸川区まで28の市区町で構成されております。河川の上流部、中流部、下流部の自治体ではそれぞれ治水対策の在り方が違うと思っております。当市における役割と治水対策の効果をどのように考えられているのかお尋ねいたします。</p>	
通告第2号 19番 中嶋 通治	ジェンダーレス水着の導入について	<p>昨今、性別にとらわれないジェンダーレスの動きが教育現場に広がる中、学校の水泳授業向けに、男女同じデザインの「ジェンダーレス水着」を東京都内のメーカーが開発し、生まれた時の性別と自認する性が異なるトランスジェンダーの人への配慮のほか、「体形や肌を見せたくない」といった悩みにも応えるスクール水着として注目を集めております。</p> <p>同メーカーによると、令和4年の6月に「男女共用セパレート水着」を発売したとのことです。男女共通の形はスクール水着業界初であり、紺色の長袖上着とハーフパンツの上下セットで、胸や腰などの部分にゆとりを持たせ、男女の体形の違いが目立たないようにしております。</p> <p>肌に密着しないデザインでも泳ぎやすくするため、ハーフパンツには撥水加工を施し、腰付近に空気の抜け穴を設けたとのことです。</p> <p>開発の背景には、学校現場におけるジェンダーレス化の動きがあるようです。</p> <p>当市においても、2020年(令和2年)4月に市内4番目の中学校として開校した吉川中学校では、「性別に関係なく、誰でも自由に選べる制服」を目指し、ジェンダーレスの制服の採用に至ったことは、記憶に新しいところです。</p> <p>こうした「制服がスカートやスラックスを自由に選べたり、体操着が男女共通化したりする中で、スクール水着は性差があらわになるデザインが多い」との声が届いており、また数年前からトランスジェンダーの生徒に対応した水着の相談が同メーカーにも寄せられていたとのことです。</p> <p>今年は東京都と兵庫県の公立中学校の計3校が、従来の水着と選択できる形で導入したと聞き及んでおります。1学年の約半数の生徒が「男女共用」を選んだ学校もあるとのことです。</p>	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨		答弁を求める者
通告第2号 19番 中嶋 通治	(続) ジェンダーレス水着の導入 について	<p>6月以降、さまざまなメディアで取り上げられ、来年に向け100校以上が導入を検討しており、今年分はすでに在庫がなく、来年に一般向けのオンライン販売も予定しているようです。</p> <p>以上、このような状況を踏まえ、以下の質問をさせていただきますので、市の見解をお伺いします。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 小中学校における水泳授業の実施期間と実施回数 ② 水泳授業の実施にあたりスクール水着の指定の有無と現状 ③ 学校現場からの性的少数者(LGBTQ)の生徒に対応できる水着への相談の有無。相談があった場合は、その内容と対応。 ④ さまざまな悩みで水着を着ることに抵抗がある児童・生徒が、水泳の授業に楽しく前向きに参加できるよう、選択肢の一つとしてジェンダーレス水着の導入のお考えは。 		
通告第3号 10番 降旗 聡	「ゾーン30の推進」について	<p>7月26日、保自治連合会から市長へ「ゾーン30指定の要望」が提出されました。また、吉川警察へも同様の要望をしてきました。</p> <p>これに対し、11月20日に開かれた保自治連合会役員会で、市担当課から、要望に対する考え方が示されました。</p> <p>そこで、以下について市の見解を伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 保自治連合会に対してどのような説明をしたのか。また、説明に対してどのような反応・意見があったのか。 2) 私はこれまで、「安心・安全のまちづくり」の一つの手段として、ゾーン30を強く要望してきたが、今後どのような展開が検討されているのか。 3) 武蔵野線南部の地区では、ほぼ全域がゾーン30の指定がされている。これまで、いつごろ、どのような要望があったのか。 4) ゾーン30に指定することにより、カーナビゲーションの地図にも反映される。市民だけではなく、通りがかりの人にもゾーン30が認識され、安全対策の一助となると考えるが、市の見解は。 		市長 担当部長
	「DXで市民生活を快適にする取り組み」について	<p>先日、金沢市でデジタル交通サービス「のりまっし金沢」について視察をした。この「のりまっし金沢」は交通事業者や金沢市などで構成される金沢Ma a Sコンソーシアムが運営するスマホアプリ。デジタルチケット販売機能のほか、イベントやお得なクーポン情報をはじめ、バス・電車の時刻表検索を搭載しており、観光・ビジネスはもちろん、日常の移動における公共交通の利用拡大アプリとして普及をめざしているとのこと。そこで伺います。</p>		市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨		答弁を求める者
通告第3号 10番 降旗 聡	(続) 「DXで市民生活を快適にする取り組み」について	1) 吉川版MaaS導入の検討についての市の見解は。 2) ICTを活用したスマートバス停を現在改修計画を進めている吉川駅北口駅前広場へ導入することができないか。さらには、吉川美南駅東口広場への導入の可能性について市の見解を伺います。		
通告第4号 14番 五十嵐恵千子	1. 子育て応援トータルプランの推進を	<p>第6次吉川市総合振興計画の第1章. 人を育むまちづくり(こども・学び部門)第1節～第5節には、未来を担うすべての子どもや若者が、豊かな心や未来を切り拓く力を身に付け、健やかに成長できるまちづくりを目指すとして、子育てをトータル的に応援する様々な施策が位置付けられ現在推進されているところです。</p> <p>公明党は、今年1月～2月に全国展開した子育てアンケートや子ども、若者・子育て世代との意見交換などを通して現場の声も伺いながら、11月8日、結婚、妊娠・出産から子どもが社会に巣立つまで、切れ目のない支援策として「子育て応援トータルプラン」を発表しました。今回のプランの特徴は、これまでの少子社会トータルプランに掲げられた「仕事と家庭の両立」「子育て負担の軽減と支援」に、新たに「子ども政策を中心に据えた『子ども真ん中社会』の実現」「男女間の不平等解消」「若者が将来の展望を描ける環境整備」を追加し、この5つを基に、子ども政策全般および働き方や社会保障を見直し「一貫性、継続性、恒久性、体系性が国民から見えるようにすることが少子化を食い止める」と同プランの意義を強調しています。</p> <p>①本市の主な施策の現状と課題についてお伺いします。</p> <p>②現状と課題を踏まえ、今後についてのお考えがあればお聞かせください。また、本市も子育て家庭が理解・相談しやすくなるよう、ライフステージや子どもの年齢等に応じたトータルプランを新規事業追加も含め、さらに拡充すべきと考えますが、ご見解をお伺いします。</p> <p>③公明党が発表した「子育て応援トータルプラン」に掲げる政策の一部を先行的に実施するとして、妊娠期からの伴走型相談支援と妊娠・出産時に計10万円相当を給付する経済的支援事業が政府の総合経済対策に新規事業として盛り込まれました。「出産・子育て応援交付金」の円滑な実施に向けて、本市はどのように認識し実施されるおつもりか、お考えをお伺いします。</p>		市長 担当部長
	2. 子宮頸がん予防対策のさらなる推進を	子宮頸がんの発症予防を目的としたHPVワクチンについて、本年4月より、定期接種対象者への積極的勧奨が約9年ぶりに再開されました。昨年の12月議会一般質問にて、個別通知で周知徹底を要望させていただいたところ、コロナ禍対応で大変な中、速やかに対象者へ郵送通知を実施していただきました。本市の迅速な対応		市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨		答弁を求める者
通告第4号 14番 五十嵐恵千子	(続) 2. 子宮頸がん予防対策のさらなる推進を	<p>に改めて感謝申し上げます。</p> <p>①子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨再開に伴うこれまでの対応と直近までの接種率、市民からの反響がありましたらお聞かせください。</p> <p>②現在、定期接種やキャッチアップ制度で使用できる HPV ワクチンは 2 価ワクチンと 4 価ワクチンですが、これらのワクチンよりも高い感染予防効果があるとされる 9 価 HPV ワクチンについて、厚生労働省は来年 4 月 1 日から無料接種を行う方針を決定しました。従来 of ワクチンよりも高い感染予防効果があるとされる 9 価 HPV ワクチンが加わることは大変喜ばしく重要な事と考えます。そこで、9 価 HPV ワクチンの効果や安全性、定期接種化に伴う本市の対応についてお考えをお伺いします。また、この情報についても対象者全員に個別通知し、4 月 1 日からは効果が高い 9 価 HPV ワクチン接種を選択していただけるようにすべきと考えますが、本市の周知方法についても併せてお伺いします。</p> <p>③子宮頸がん検診率向上のため、府中市は本年度中に 23、24 歳になる女性に対し、子宮頸がんなどの主な原因となる HPV 感染の有無を自宅で調べられる簡易キットを 7 月末まで無料で配布したとの報道がありました。本市の昨年度の年齢ごとの検診受診率をお聞かせください。また、本市も検診率の向上を目指し、若い女性の命を守る検診のきっかけにもなる「簡易キット無料配布」を検討すべきと考えます。ご見解をお聞かせください。</p>		
	3. 带状疱疹ワクチン接種への助成を	<p>带状疱疹は、過去に水痘に罹患した者が、加齢や過労、ストレスなどによる免疫力の低下により、体内に潜伏する带状疱疹ウイルスが再び活動し発症します。</p> <p>原因となるウイルスは、日本人成人の 90%以上の方の体内に潜んでいて、50 歳を境に発症率は急激に上昇し、60 歳代から 80 歳代でピークを迎え、80 歳までに約 3 人に 1 人が带状疱疹になると言われています。最近、テレビの CM や病院での周知により、「带状疱疹はワクチン接種で予防することができる」という認知度が高まっているようで、市民からのお問い合わせが増えています。</p> <p>①当市は、带状疱疹ワクチンの効果やリスクをどのようにお考えかお伺いします。</p> <p>②带状疱疹の痛みには個人差があるようですが、多くは最初、皮膚に針で刺されたような痛みや焼けるような痛み、神経痛のような痛みで発症し、その後、水膨れを伴う赤い発疹が帯状に現れ、徐々に痛みが強くなり、眠れないほど痛む方もいらっしゃいます。そうしたことから、できれば予防のためにワクチン接種を打ちたいと検討している方も少なくありません。</p> <p>しかし、带状疱疹ワクチンの接種費用は生ワクチンで 1 回約 8,000 円程度、不活</p>		市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第4号 14番 五十嵐恵千子	(続) 3. 带状疱疹ワクチン接種への助成を	<p>化ワクチンは1回約2万2,000円程度と高額で、しかも2回接種しなければなりません。また、人によっては、接種前に検査も必要ということで接種を諦める高齢者も少なからずいらっしゃいます。带状疱疹による神経の損傷によって、その後も痛みが続く「带状疱疹後神経痛」と呼ばれる合併症に加え、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴などを引き起こし、目や耳に障害が残ることもあるといわれている事から、既に一部助成を実施している自治体もありますが、本市においても「予防接種費用を一部助成してほしい」と多数の市民からご要望をいただいています。一定の年齢以上の希望する市民へ带状疱疹ワクチン接種の一部助成をすべきと考えますが、ご見解をお伺いします。</p>	
通告第5号 15番 大泉 日出男	投票率の向上と選挙割の拡大について	<p>今年の7月10日に行われた参議院議員選挙における全体の投票率が52.05%で前回2019年の参院選(48.8%)からは、3.25ポイント上昇しました。この中、10代の投票率は34.49%と前回参院選(32.28%)から2.21ポイント上昇したものの、全体の投票率からは17.56ポイントも下回り、18歳選挙権が実現した2016年以降で最も差が大きくなったというデータがあります。</p> <p>若い世代で社会課題に対する関心が高まっていることから全体よりも上昇率が少し高くなるのではと思う一方で、意外な結果であったと、識者は分析しております。同時に、投票率向上の為に各自治体で様々な工夫をしていかなければ民意を拾えないという課題もあります。その工夫の一環として「選挙割」が紹介されておりました。選挙割とは投票所で「投票済証明書」をもらった人が、飲食店などで割引が受けられるサービスの事で、今現在全国約2000店舗の団体が参加をしております。当然期日前投票を完了した人にも適用されており、特に若い世代30代20代の投票率が上がる効果がある一方で、丁寧な啓発活動をしなないと行き過ぎた誤解が生じることも考えられます。そこでお伺いいたします。</p> <p>①投票率の向上のためにどのような工夫をされており、その際の具体的な課題は何かご所見を伺います。</p> <p>②当市では、ある大型店舗で「センキョ割」を実施済のようですが、導入に至った経緯、周知方法、直近の衆議院議員選挙(令和3年10月31日)では何人の方に発行し、実際に利用した件数をお伺いいたします。</p> <p>③地域活性化の観点から、地元商店街に丁寧に主旨を説明ご協力頂き、吉川市全体へ広く周知する取組みをしてみてもどうかと考えますがご所見を伺います。</p> <p>④若い人が選挙に関心を持つことは、大きく未来を拓くきっかけとして大変重要と考えます。茨城県取手市では、高校生自らが、選挙投票啓蒙動画を制作して市の</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨		答弁を求める者
通告第5号 15番 大泉 日出男	(続) 投票率の向上と選挙割の拡大について	HP へアップしている取組みをしております。当市でも前向きに検討してみても考えますがご所見を伺います。 ⑤若者の投票率を上げるには、国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え判断し行動していく、「主権者教育」の環境整備が必要であると考えますが、市のご所見を伺います。		
通告第6号 (欠番)	(申し出により取下げ)			
通告第7号 3番 稲葉 剛治	1. スポーツに親しむ環境づくりについて	分散型スポーツ施設整備、既存のスポーツ施設におけるスポーツを親しむ環境づくりについての進捗状況と今後の方向性について伺います。 ①分散型のスポーツ施設整備の進捗状況について ・現在の進捗状況、今後の整備スケジュールの予定について伺います。 ・これまでスポーツ関係団体と意見交換を行っているが、意見交換の目的と意見への回答はどのように行っているか伺います。 ・整備予定のスポーツ施設で行うことを想定しているスポーツの種類を伺います。 ・スポーツ施設の機能面について議論されていることを伺います。 ・屋外プール跡地について、スポーツ施設として活用する考え方はあるのか伺います。 ②既存のスポーツ施設について ・既存スポーツ施設の改善内容、今後の改善内容について予定されていることがあれば伺います。		市長 担当部長
	2. インクルーシブ公園について	東京都から徐々に広がりを見せているインクルーシブ公園整備ですが、遊具についても選択肢が増えてきているように受け止めています。 吉川市のインクルーシブ公園整備に関しての進捗状況を伺います。		市長 担当部長
	3. プール授業の運営のあり方について	コロナ禍の影響により、細かなところに配慮されながら学校運営にご尽力頂いている中、プールの授業も再開されています。民間施設を活用した取り組みも行っています。今後のプール授業のあり方について考え方を伺います。 ・学校における水泳授業の目的は。 ・市内各小中学校に設置されているプールを利用した水泳授業の実施期間、日数は。 ・水泳授業が中止となった日数(大まかな割合でも)と、中止の理由は。		市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨		答弁を求める者
通告第7号 3番 稲葉 剛治	(続) 3. プール授業の運営のあり方について	・「全校プール施設維持」と「水泳授業の民間委託」を比較した時、費用のみならず負担感も含むコストパフォーマンスについてどのように考えるか。		
通告第8号 5番 林 美希	1. いじめについて	① “吉川市いじめの防止等のための基本的な方針”の改正案について改正ポイントは。 ②教職員の認識について いじめが解消されている状態として「①いじめに係る行為が止んでいること」のみならず「②被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないこと」、2つの要件が満たされている必要がある。対応にあたる教員に対しこの認識が周知されているか。 ③いじめ対応のリソース確保について いじめ対応にあたっては原因の確認、関係者の主観への傾聴、時間とともに変わる状況と関係者の主観の把握と大変時間がかかる。現場教職員以外の人的リソースの投入、サポートが必要ではと考えるが見解は。		市長 教育長 担当部長
	2. 不登校について	①不登校児童生徒と家庭が孤立しないために、吉川市と吉川市教育委員会が主体となって取り組んでいる事業は。 ②施設新設のみならず、既存の公共施設や公共空間で不登校児童生徒の利用を見守る意識も必要と考えるが、見解は。 ③民間団体等との連携の促進やネットワーク化による不登校児童生徒の居場所の拡充が必要と考えるが、見解は。		市長 教育長 担当部長
	3. 子育て支援、多様な保育について	①無園児について ・保育所や幼稚園、認定こども園に通っていない0歳児～5歳児、いわゆる“無園児”は市内に何人いるか。 ・全数把握の中で、無園児とどのような関わりを持っているか。 ②保育の量の確保について ・保育施設入所待ち人数をどのように捉えているか。 ・加配が必要な子どもの保育のニーズと、供給について現状をどのように捉えているか。 ・非定期保育のニーズと、供給について現状をどのように捉えているか。 ③子育て支援センターについて ・「地域子育て支援センターや子育てサロンなど、地域における子育て支援拠点を概ね中学校区に1か所程度設置する」という指標が埼玉県にあったが、現在3拠点ある吉川市地域子育て支援拠点の今後の数の見通しは。		市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第8号 5番 林 美希	(続) 3. 子育て支援、多様な保育 について	<ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援拠点の増、地域子育て支援拠点における一時預かり実施等機能強化の検討をしていただきたいと考えるが見解は。 ・美南子育て支援センターは、小学校・公民館・高齢者ひろばの利用もあり、車が止められず利用を諦めたとの声がある。公民館利用者にとっても利便性が低い状況であるが、見解と対応は。 ④病児保育について 「子どもが集中している地域においてニーズが高い事業であると考えている」「引き続き、今後の対策について検討してまいりたい」とご答弁をいただいたが、進捗は。 	
通告第9号 8番 雪田 きよみ	1. 子育て支援の充実を	<p>昨年 NPO 法人キッズドアが行った「子育て困窮世帯の緊急アンケート」結果では、新型コロナウイルス感染症流行前と比べて収入が減った世帯は 7 割、今も収入が減ったままという世帯は 5 割に上っています。同じく昨年内閣府が行った「子どもの貧困調査」の分析結果では、過去 1 年間に必要な食料が買えなかった経験は全体で 11.3%、ひとり親世帯は 30.3%。母子世帯では 32.1%です。同調査ではコロナ感染拡大の変化として、「学校の授業がわからないと感じる」かどうかも調査していますが、「増えた」が全体で 26.4%、所得の低い世帯では 36.1%。</p> <p>文科省が 10 月 27 日に発表した 2021 年度の不登校児童生徒数は、過去最高の増え幅で 24 万 4940 人。小中高のいじめの認知件数も過去最多を更新。文科省はこれを、「長引くコロナ禍に起因する心身の不調やストレスが影響している」と分析しています。</p> <p>児童虐待件数も 5 年間で倍増、子どもの自殺も 2020 年 499 人と過去最悪となっています。今こそ、子育てへの手厚い支援が求められていると考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①吉川市の子育て世帯及び子どもたちの現状についてお聞かせください。 ②「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」の使途計画をお聞かせください。 ③9 月議会でも質問しましたが、学校給食費の無料化について再度見解を求めます。 ④子ども医療費無料化の対象を 18 歳まで拡充すべきと考えます。見解をお聞かせください。 ⑤国保の均等割の軽減を、市独自施策として就学以降にも拡充すべきと考えます。見解をお聞かせください。 	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第9号 8番 雪田 きよみ	2. 不登校支援の充実を	<p>市の不登校児童生徒数はこの5年間、小学生では2017年の13名から昨年度には33名に、中学生でも2017年73名から昨年度には91名と増加しています。一方昨年度の教育支援センターへの相談件数は延べ328名、体験入級者は2名、正式入級者は26名でした。</p> <p>①昨年度、フリースクールに通った児童生徒数をお聞かせください。 ②現状をどのように認識しているか、お聞かせください。 ③新型コロナウイルスの不登校への影響について、見解をお聞かせください。 ④不登校の原因の一つに、コロナ禍でのマスク着用によるコミュニケーション不足を指摘する声もあげられています。29日、文科省は学校給食について「適切な新型コロナウイルス対策を講じれば「会話は可能」とする通知を出しました。市の対策をお聞かせください。</p>	市長 教育長 担当部長
	3. 高齢福祉の充実を	<p>①第8期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に掲載された「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査」結果では、4割以上の方が自宅で最期を迎えたいと答えています。その一方「満足な最後か不安」と5割以上の方が答えています。在宅医療・在宅看取りについてまだまだ知られていない現状と感じます。市の見解をお聞かせください。</p> <p>②同じ調査で、認知症について「認知症の原因となる病気で予防できるものがあること」を知らないと答えた方は全体で47.3%、特に男性では5割を超える方が知らないと答えています。認知症の相談窓口を知らないと答えた方は68.6%、「介護者が不安に感じる介護」では認知症状への対応との回答が最も多く寄せられています。認知症についてもまだまだ十分には知られていない状況と感じます。市の見解をお聞かせください。</p> <p>③昨年度の特別養護老人ホームの退所者数は84名、そのうち死亡49名、入院30名、その他5名とお聞きしています。「その他」の要因についてお聞かせください。 ④厚労省は2024年度の介護保険制度改定に向けて、単身世帯で年収200万円以上を2割負担の対象とする方向を示しています。介護保険サービスがますます利用し辛いものになるのではと、非常に懸念しています。予想される影響と市の見解をお聞かせください。</p>	市長 担当部長
	4. インボイス制度、市の取引への影響と対応は	<p>来年10月から始まるとされるインボイス制度は、地方自治体との取引から免税事業者を排除してしまう可能性が指摘されています。 吉川市への影響と、今後の対応についてお聞かせください。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第 10 号 16 番 赤出川 義夫	1. 公園と道路、歩道の整備について	1, 公園や街路樹の除草回数と剪定の頻度、ベンチ設置数と状態について伺います。 2, ドッグランの整備予定を伺います。	市長 担当部長
	2. 吉川市民まつり中止、吉川なまずの里マラソン大会延期について	1, 第 27 回吉川市民まつり中止、第 27 回吉川なまずの里マラソンの開催延期を決定した経緯と、近隣市町の状況を伺います。	市長 担当部長
	3. セットバック後の道路の舗装について	1, 幅員 4m 以上の建築基準法上の道路に、2m 以上接道していないと家は建てられないため、接道する道路が 4 m 未満の場合建築時にセットバックを行う場合があります。セットバックした部分の土地は寄付していただいているのか、市の買い取りか現状は。その土地の舗装についてもお伺いします。	市長 担当部長
通告第 11 号 7 番 飯島 正義	1. 吉川市内の道路の安全対策を	①栄町 1327 地先の越谷吉川線に横断歩道と信号機の設置について 越谷吉川線の中央中学校南側、栄町 1327 地先に横断歩道と信号機の設置が計画されているにもかかわらず、一部開通後 4 年 8 か月近く経過した今も封鎖されたままになっています。市は「越谷吉川線の開通以前から栄町 1327 番地先の押しボタン式信号機の必要性を認識している。引き続き吉川警察署と協議や要望を行っていく」と述べてきました。 ・その後の信号機設置の進捗状況と見通しについて伺います。 ②県道加藤平沼線の中井 3 丁目 113-2 地先の歩道整備について 県道加藤平沼線、中井交差点西側の歩道が一部造成されないまま通行できない箇所があります。令和 3 年 9 月議会の答弁では埼玉県が管理する県道なので県に要望していくと述べています。 ・県や地権者との協議はどのように進んでいますか。歩道整備の見通しについて伺います。 ③江戸川河川に沿って平行する道路の安全対策を ・玉葉橋下から三郷市までの江戸川土手下道路、とりわけ三輪野江 2209 番地先での事故が何度か発生していると伺っています。この一年間で何件の事故が発生し、その原因は何か。道路の構造上問題はなかったのか。事故を繰り返させないための安全策をどのように考え、整備する計画か伺います。 ④栄町の 100 円ショップ店から南へ進む道路（市道 2-325 号線）と中野二区会館北側、東西（市道 2-328 号線）の道路整備を 栄町の 100 円ショップ店から南配水場に向かう道路は電柱も多く、場所によって	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第 11 号 7 番 飯島 正義	(続) 1. 吉川市内の道路の安全対策を	<p>は道幅が狭くとても危ないと地域住民の方から伺っています。今後、吉川美南駅東口ロータリーと幹線道路が暫定供用されるとのことで、交通量も増えることが予想されます。道路整備をすべきと考えますが見解を伺います。</p> <p>また、中野二区会館の北側、東西の道路も「大型車両が通過すると震動が激しい」と地域住民の方から改善を求める要望が寄せられています。整備を行う必要があると考えますが見解を求めます。</p>	
	2. 大沢元埼玉県知事居宅跡地の公園整備について	<p>令和 3 年 12 月議会の答弁では、「今後土地所有者のご意見も伺いながら整備計画を検討していく」との答弁でした。令和 4 年の施政方針では、「敷地内に植生している外来種の雑木の撤去を行い、樹木がより生育しやすい環境となるよう整備する。可能な限り多様な樹木を維持し、市民の皆さまが自然を身近に感じる憩いの場として、また自然とふれあえる環境教育の場としてふさわしい施設整備を進める」と述べています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な計画を示してください。 ・この公園整備については、地域の皆さんからも期待が大きい事業です。住民意見をどのように反映されていますか伺います。 	市長 担当部長
	3. 小中学校体育館・総合体育館にエアコン設置を	<p>小中学校体育館と総合体育館へ「エアコンを設置する」と P T A の集まりで市長が述べたとお聞きしました。市民要望が実現されることは大変喜ばしいことですが、これが事実なのか伺うと同時に、この間どのように検討してエアコン設置することになったのか、その経過と予算、財源を伺います。</p>	市長 担当部長
通告第 12 号 12 番 齋藤 詔治	まちづくりの軸は道路	<p>令和 4 年 3 月に、吉川市第 6 次総合振興計画策定、吉川市都市計画マスタープランが決定され、令和 4 年度～令和 6 年度の第一期実施計画が示されました。</p> <p>吉川市内には国道(常磐自動車道三郷インター・東埼玉道路川藤インター)の 2 路線、主要幹線道路 7 路線、幹線道路として 1 2 路線(県道・都市計画道路・構想路線)が整備、計画中です。身近な生活道路の計画的な拡幅整備や舗装等の整備計画もあります。多くの道路整備や新設道路構想があり、特に新設道路整備にあたっては吉川市の産業振興に繋がるような特別区を沿道に配置し、事業費が捻出されるような事業を考えてはいかかがか。また、東埼玉道路川藤インターに接続する越谷総合公園川藤線(二郷半用水路沿さくら通り～新川橋～榎戸)の新設、三郷吉川線 4 車線(さくら通り)の関小学校からの延伸整備等の進捗についてお伺いいたします。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第 12 号 12 番 齋藤 詔治	災害に強いまちづくりは、総合治水(洪水)対策の実施	<p>市民の生命と財産を守るために防災訓練等が小学校区自治会単位で行われています。総合治水対策として災害に強いまちづくりインフラ整備や市内にある多くの水田の利用等が考えられます。吉川駅周辺地域・南中学校周辺地域の治水対策、富新田地内遊水地の設置等の状況をお伺いいたします。</p>	市長 担当部長
	三輪野江地区(白地地域)まちづくりについて	<p>中原市長就任早々、吉川市内でも数少ない白地地域である三輪野江地区に、なぜこの様な土地利用事業計画を実施するのか、私は白地のままで土地活用を進めるべきであり、市長のこの事業計画の本当の意図は何なのか理解できません。</p> <p>本事業は、この地域の関係者に土地利用に関するご意見を聞くため、第 1 回懇談会が平成 27 年 8 月に開催されてから計 3 回開催したとの結果報告がなされました。三輪野江地区まちづくりについては、白地地域の全体を開発する事は現実的でないため、今後は農地保全エリア(青地編入)、農業拠点エリア(農業パーク)、将来開発検討エリア(吉川市による工業団地設置)の 3 ブロックによるまちづくりを進めるとの基本的な考え方について、市では住民の皆様の考えを踏まえ、確認したと結果報告がなされ、今日に至っております。</p> <p>今日の状況をみますと、市の計画は大きな矛盾を抱えています。農地保全エリア(白地から青地に編入)、農業拠点エリア(農業パーク)の両エリアは、既に多くの土地が耕作地以外に利用されている状況です。将来開発検討エリアは、民間企業による土地の買収契約が進んでおります。そこへ吉川市が急に埼玉県企業局にお願いし、吉川市主導で開発を進めて行きたいと説明されています。市は民間企業では、開発許可は得られないと説明しています。この様な状況の三輪野江地区の 3 ブロックエリアの計画が実施できるのかお伺いいたします。</p> <p>また農業拠点エリア(農業パーク)において、農業パーク基本構想支援事業業務委託プロポーザル実施要領に基づき事業者が決定しました。参加申込から決定までの審査や企画提案内容、契約した企業の業務実績、入札に係る業務委託の仕様書、業務履行期間及び業務委託費の検討内容についてもお伺いいたします。</p>	市長 担当部長
通告第 13 号 17 番 吉川 敏幸	1. 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について	<p>生後 6 ヶ月～4 歳、5 歳～11 歳までのワクチン接種券の送付を止め、申請制に。当市にも全国有志医師の会を中心に全国 1740 の自治体に配られた 5 歳～11 歳までのワクチン接種中止及び副反応情報等の周知徹底を求める要望書が 3 月に届いていると思う。それを受けてか、オミクロン株以降の重症化率・致死率を受けてか、生後 6 ヶ月～4 歳では、11 月 25 日時点で 207 の自治体が、5 歳～11 歳では、10 月 28 日時点で 84 の自治体が接種券の一斉送付を取り止めている。今後の市の対応と見解を伺う。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第13号 17番 吉川 敏幸	2. 小中学校の体育館及び総合体育館へのエアコン設置について	<p>学校の授業等、また災害時には避難所として使用される体育館に熱中症、防寒対策として空調設備の設置を。</p> <p>文部科学省の資料によれば、令和4年9月1日時点で県内の小中学校体育館への空調設備設置率は12.0%である。子どもたちの熱中症対策、災害時には体力が低下した方たちのためにも体育館に空調設備は必要と考えるが、市の見解を伺う。</p>	市長 担当部長
通告第14号 1番 岩田 京子	<p>SDGsを目指して</p> <p>1) 「みどりの食料システム法」施行を受け、市の取り組みは</p>	<p>2030年SDGs(持続可能な開発目標)達成をめざし、吉川市は2018年(平成30年)に取り組み始め4年目を迎えています。</p> <p>吉川市のSDGsに対する考え方について改めてお聞きします。</p> <p>2021年12月議会にSDGsウエディングケーキに関して質問し、国では2022年7月「環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律(みどりの食料システム法)」が施行されました。</p> <p>①市のSDGsウエディングケーキについての考え方を改めてお聞きします。</p> <p>②第5条、地方公共団体の責務、吉川市として何をしていますか。また今後の予定は。</p> <p>③第6条、事業者と消費者の努力、そのための法律の周知や働きかけはどのように。</p> <p>④「環境負荷低減事業活動の促進に関する基本的な計画」策定の予定について。</p> <p>⑤バイオ炭を農地へ施用することによるCO2削減と、カーボンクレジットによる農地の価値向上について市のご見解をお聞かせください。</p> <p>⑥特定の区域内で環境負荷の低減の効果を高める特定環境負荷低減事業活動が推進されています。吉川市農業パーク構想を「オーガニックビレッジ」とし、みどりの食料システム戦略推進交付金等を活用し、特色ある事業として進めてはいかがでしょうか。</p>	市長 担当部長
	2) ESD(持続可能な開発のための教育)for2030の推進について	<p>2021年5月「第2期ESD国内実施計画」が策定され、ESD実践のポイントとして、カリキュラム・デザインにおけるESDの位置付けや、学校内外での連携の促進に着目して「ESD推進のための手引き」も改訂され、その後6月に環境省と文部科学省の連名で地球環境問題に関する教育の充実について、「気候変動問題をはじめとした地球環境問題に関する教育の充実について」の通知が出されています。</p> <p>①実施計画の主な内容について。</p> <p>②どのように充実を図ったのか、また今後の予定は。</p> <p>・次年度の計画策定にあたり「手引き」の活用をどのように各学校に周知してい</p>	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨		答弁を求める者
通告第 14 号 1 番 岩田 京子	(続) 2) ESD (持続可能な開発のための教育) for2030 の推進について	<p>るのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民や事業者に対する生涯学習としての環境教育について、現状と今後の予定。 ・令和 4 年策定環境行動計画での環境学習の参加人数の目標数値の設定理由。 ・職員アンケートによればSDGsの取り組みができていない職員が 4 割いることが明らかになりました。この結果を受け、対策は。 <p>学校での外部講師の授業とその後の実践について。市民団体や企業による外部講師の活用は、授業を受ける子ども達の学びだけでなく、授業を行う主体者の育成にも繋がります。</p> <p>③上田高校の生徒による教室の断熱工事について議会でも紹介しています。昨年、学校の外部講師としてハウスメーカー2社が環境教育に入っていますが、その後の展開は。</p> <p>④効果あるCO2削減の取組みの一つとして公共交通の選択があります。地域公共交通の将来の利用者として、小さい時から公共交通に親しむ必要があります。バス事業者による講座の導入や「バスの日」の子ども達への無料チケット配布等について検討を。</p>		
	3) 気候非常事態宣言を	<p>①オール市民で気候変動への理解と実行に繋げるために、市長による気候非常事態宣言を発出してはいかがでしょうか。</p> <p>②「気候市民会議」開催を提案します。</p> <p>気候変動対策は最終的には市民の理解と実行にかかってきます。無作為抽出の市民によって、気候変動対策について学び、熟議を重ねた上で進めていくことは、市民の啓発だけでなく、市の市民参画条例にある市民討議会の手法でもあり、真の市民参画による気候変動対策の実施となり、納得の上で進めることができるのではないのでしょうか。</p> <p>③気候変動に取り組むための組織再編について、再度見解を伺います。</p>		市長 担当部長
通告第 15 号 11 番 伊藤 正勝	コロナの実状と対策について	<p>With コロナの時代。感染拡大の防止と暮らしや経済活動の両立を目指す方向が示されています。吉川の感染の現状とともに今後の施策の展開についてまず取り上げます。次に来年の 2 月には市長選挙です。吉川は小さな自治体ですがそれでも「政治に小休止なし」の言葉は生きています。今回は新駅東口開発整備や小松川の環境問題等まちづくりについても重点的に質問を重ねます。</p> <p>1. コロナ感染の最新のデータについて 感染の実状について。第 8 波の感染拡大の初期の段階 (11/29) とされています。</p>		市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨		答弁を求める者
通告第 15 号 11 番 伊藤 正勝	(続) コロナの実状と対策について	<p>吉川の実状を最新のデータでご紹介・ご報告いただきたい。▽吉川市の感染者総数・累計。最近の動向。第 6 波、7 波、そして 8 波の実状と比較を交えて▽市職員と会計年度職員。小中学校の児童生徒。教職員。幼児・保育園児・学童保育や高齢者の数値。▽複数事例（クラスター）の実状は。学校、保育所、障がい者施設、高齢者施設、庁内は。▽感染者になった場合の対応。前後の消毒等衛生処理は。療養期間は。ルールや基準があればご紹介を。▽With コロナに向けての取り組みの変化を具体的にご説明下さい。</p> <p>2. With コロナの各施策について ▽黙食やマスク着用等の扱いの変化。▽学校での体育や音楽の授業。課外活動の変化は。▽不登校の増加や体力の低下、ストレス等の実状と対応策は。▽トイレ洋式化の評価は。学校について、その他公共施設について。清掃はだれが。床、天井、ドアの消毒。換気対策の実施は。▽公共施設の規制の緩和は。活用策は。各種行事や取り組みの変化と実状を。</p> <p>3. 子ども家庭庁発足に関連して 来年 4 月には子ども家庭庁が発足する運びです。▽幼児や保育児のデータや各種の基準は学校に比べ把握が不十分ではないかとの印象がありますが、実状はいかがですか。感染症の実状報告や対応。学校と比べ違いはありませんか。▽新しい庁の発足を前に全国一斉の調査等が行われていればその報告内容をご紹介下さい。▽4 月以降何がどう変わりそうですか。庁内の対応も変わりますか。</p>		
	吉川のまちづくりについて	<p>1. 吉川美南駅東口開発整備について 吉川美南駅東口開発は折り返し点を迎えています。▽これまでの進捗状況と基本計画の変更点等についてご説明下さい。今後の課題をどう捉えていますか。▽公共施設の整備エリアの公募の方針。企業等の反応や打診の動きは。▽住宅や公園の整備についての考え。駅に面した価値あるエリア。どんな工夫や新たな発想が取り入れられるのかご紹介下さい。▽域内の道路網と同時に吉川美南駅と主要な拠点を結ぶ道路・交通網の整備が急がれます。方向性や明示の時期等の考えをご説明下さい。▽300 人余の地権者の納得と協力は不可欠です。円滑に進んでいますか。</p> <p>2. 小松川的环境整備について 産業廃棄物の車両の増加で他の進出企業に影響が出ています。SDGs の時代。産廃事業者とともに周辺の企業や住民等（三方一両得）の精神が必要です。お互いに</p>		市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨		答弁を求める者
通告第 15 号 11 番 伊藤 正勝	(続) 吉川のまちづくりについて	<p>我慢するだけでなくより良い環境にすることが求められています。工業工専地区であってもさらなる改善の知恵は必要です。中核企業の一つが年内に転出し、東側の境界線ともいえる大場川の改修は目前に迫っています。行政がその軸になり役割を果たすべき時期だと考えますが改めて市長の見解を伺います。</p> <p>3. 江戸川、中川の改修について 市内を流れる江戸川・中川、大場川いずれも改修の終盤を迎えようとしています。国や県の資金とアイデア、吉川はそれを活用し社会に還元する役割を担うこととなります。▽江戸川について。防災センターを始め関連の周辺道路の整備、サイクリング道路や河川敷の扱いの変化。最近の動向をご紹介下さい。▽江戸川の堤防に森林帯を。県民の森やTOTOの森は見事に成長しています。市民や企業の協力も得て緑豊かに、CO2削減も念頭に。積極的に提案し実現を図る一步にしたいと考えます。ご賛同のご見解を。▽江戸川、中川については対岸の自治体との協力、話し合いが必要です。▽来春には流山橋も開通へ。流域の流山、野田、三郷、吉川で定期交流の場を設け、交流や活用、情報の交換を日常化することも早期に進めるべきです。時代が大きく動いています。独善ではなく・抜かりない姿勢での取り組みをと申し上げます、ご見解を。</p>		
	今後の市政運営(市長選に関連して)	<p>①柱となる項目について、わかりやすくご説明を。 ②演劇の騎手事業化等は、相当無理なエネルギーが注がれたように受け止めています。今後の市政運営において、庁内をはじめ、関係者と十分協議し、納得のうえですすめるべきと考えますが、ご見解を。</p>		市長
通告第 16 号 2 番 稲垣 茂行	1. コロナウイルス感染症「第8波」への対応及びワクチン接種について	<p>新型コロナウイルス感染症は、オミクロンの変異株「BA. 5」系統への置き換わりが進み、依然として感染が続いています。 政府は、「新たな行動制限を行わない」と表明し、この冬(12月～2月)に予想される第8波に備えたワクチン接種を進めています。オミクロン株に対応したワクチン「BA. 1」と「BA. 5」の2種類を用意し、感染拡大を防ごうとしています。 国は経済や社会の活力を取り戻すため、入国制限と空港検疫を大幅に緩和しました。外国からの個人旅行客の入国を解禁するとともに、国内の観光需要を喚起するため「全国旅行支援」を始めました。 しかし、この冬に予想される「第8波」とインフルエンザの同時流行が心配される中、国内での感染は再び広がりを見せ始めており、行動制限等を行わずに感染拡大をどう抑えていくのが現在の課題です。</p>		市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨		答弁を求める者
通告第 16 号 2 番 稲垣 茂行	(続) 1. コロナウイルス感染症 「第 8 波」への対応及びワク チン接種について	<p>そこで、変異株「BA. 5」ワクチン接種の現状と今後、第 8 波への取組み及び医療体制等について質問を致します。</p> <p>「第 7 波」では感染症としてのウイルスは弱くなり、季節性インフルエンザに近いものに変化してきましたが、新たな変異株によっては重症化率が上がり救急搬送困難や医療崩壊につながる懸念もあります。</p> <p>コロナ禍での生活も 4 年目に入ります。「日常」の回復に努めるとともに、緊張感を持って対策に臨まれるようお願いを致します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 市内感染情報が出されなくなりましたが、現状をどう把握されているのか。 2 ワクチン接種計画内容のこれまでとこれから 生後 6 か月～ 4 歳・ 5 歳～ 11 歳・ 12 歳以上への実施計画と状況 3 県及び草加保健所の体制及び管内医療体制の現状 検査体制、重症、入院、ホテル・自宅療養等 4 市内医療機関の発熱外来体制及び PCR 検査体制 5 自宅療養者支援（食品・パルスオキシメーター）と救急搬送の状況 （小中学校・保育所等について） 6 小中学校での感染状況と予防対策 7 授業方法、給食、各種行事、部活動の現状 8 保育所等での感染状況と予防対策 		
	2. 中原市政 2 期 8 年を振り返って	<p>9 月定例会に続き、中原市政 2 期 8 年間を振り返りこれまでの主要施策・事業等について再度質問をします。また、3 期目に臨む基本姿勢について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 3 期目に臨む基本的な姿勢について 現状と課題の認識。継続するものと改めるもの 投票率向上策 2 これまでの主要施策、事業等について 完了事業は成果と課題を、継続中事業については進捗状況と今後の見通し及び主な課題 <p>【施策・事業等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 総合治水対策（吉川駅北口・南中学校周辺地区） ● 吉川美南駅東口開発（ガラ搬入・盛土・裁判・文化施設等） ● 三輪野江地区開発構想（工業団地・農業パーク・農用地保全地区） ● リユース第 2 処分場跡地利用 		市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第 16 号 2 番 稲垣 茂行	(続) 2. 中原市政 2 期 8 年を振り返って	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育大綱・志教育 ● 演劇プロジェクト ● 旧庁舎跡地活用（解体に伴う杭抜き） ● 公園再生プロジェクト（関公園他） ● おあしす改修（一体整備・は一とふるぽっと閉鎖等） ● 「なまず」のまちおこし ● 公金等紛失事件 	
通告第 17 号 6 番 遠藤 義法	1. 令和 5 年度予算編成方針と各事業の進捗状況、計画は	1. 第 6 次吉川市総合振興計画、都市計画マスタープラン 2 年目になります。継続事業や新規事業も多く、課題もあると考えております。以下の主な事業内容について伺います。 (1) 新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金を活用した事業の実績と効果について ・これまでの市民の発熱時の対応、市の事業の周知や啓発についての総括は。計画通りに進まなかったと考える事業はありますか。あればその要因は。 ・一般財源を予定して事業を計画、実施する中で、地方創生臨時交付金の活用に置き換えた事業は何か、その金額は。 (2) 新型コロナ禍、市民生活を支える取り組みや相談に応える市職員として苦労も多かったと推測します。職員への研修と組織づくり、会計年度任用職員の位置づけなどについての考え方は。 (3) 一人 1 台のタブレットによる家庭学習の充実やアプリの活用で、「主体的、対話的で、深い学び」を実現する ICT 教育を推進するとしています。効果と思考力の低下などの問題認識、課題解決のための取り組みは。 (4) 小中学校体育館へのエアコン設置について教育委員会での議論と市長部局との協議、結論は。 (5) 三輪野江地区の「農業パーク」構想の今後の事業の進め方は。 (6) 吉川駅北口広場の改修計画の進め方と予算額は。 (7) 吉川駅北口の第一排水区の冠水対策のための流域解析調査結果と今後の計画は。 (8) 公共施設の長寿命化計画に基づいて市民交流センターおあしす改修の準備を進めるとしてきました。計画を伺うと同時に、各施設についても劣化度調査を行い、必要な場合は見直しをすることでしていましたが結果は。 (9) 市民の足を確保する公共交通施策の取り組みとして、持続可能な公共交通施策	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨		答弁を求める者
通告第 17 号 6 番 遠藤 義法	(続) 1. 令和 5 年度予算編成方針と各事業の進捗状況、計画は	の実施に向け協議していくとしていましたが到達と推進策は。 (10) 令和 5 年度は、国民健康保険財政健全化計画の最終年度となります。これまでの計画と到達、国保税の県内統一化など今後の事業見通しは。 (11) 令和 5 年度の歳入歳出見通しは。財源確保のために考えている施策は。財政調整基金についての考え方は。		